

多高通信

2017年(平成29年)3月31日 金曜日
宮城県多賀城高等学校
多賀城市笠神2-17-1
発行 防災教育担当

平成28年度 防災教育特集号

平成28年4月、兵庫県立舞子高校に次いで全国2例目となる防災系学科「災害科学」が開校された。本校ではこれを機に普通科も含め学校全体で防災教育の充実を図るためのカリキュラムをスタートさせ、災害や防災を切り口として得られる様々な課題を自らの力で解決できる人材の育成を目指す。
4月から始まった授業では、各方面から多数の専門講師を招き、内容の濃い授業が展開された。

安倍首相から激励

東日本大震災5周年復興フォーラム(東京)にて



本校の活動や取り組みを安倍首相に説明(左から佐藤さん、大槻君、阿部君、成田さん)

6月6日、東京都千代田区のイノホールで行われた、復興庁主催「東日本大震災5周年復興フォーラム」は、東日本大震災から5年の節目を迎えたこの機会に、震災の経験・教訓を広く共有するとともに、復興の現状を国内外に正確に発信することを目的として開催され、3年の大槻有也君、2年の佐藤千咲さん、成田朱君、1年の阿部大和君、成田朱君の4名が参加した。本校は、このイベントに高校として唯一招待され、ブース展示とミニプレゼンテーションを行った。ブースには安倍総理大臣、高木復興大臣(当時)、長島復興副大臣(当時)などが訪れ、特に安倍総理には、学校の防災・減災教育の説明を詳しく説明した。安倍総理からは「震災の経験、防災学習の機会を十分に活かして今後も頑張って欲しい」と励ましの言葉を頂いた。総理は、その後の記者会見でも「多賀城高校の取り組みに期待したい」と述べられた。



本校の発表を真剣に聞く安倍首相

成田朱理さんの話「災害科学科1年・幸町中出身」
安倍総理には被災当時の様子や、その時感じたことを話した。現在学校で学んでいることを話すと、頑張ってくださいと言ってくれました。

ユネスコスクール I Eスクール ダブル指定!



復興庁「新しい東北」 復興功績顕彰受賞

復興庁は、東日本大震災から5年が経過し、復興・創生期間に入ったことを機に、被災地に進む「新しい東北」の実現に向け、大きな貢献をしている個人及び団体を顕彰した。
その中で本校は、震災後に有志生徒が津波の痕跡を見つけ、その付近の電柱に津波標識を設置した活動や、その標識をたどり被災状況の説明をしながら、案内をする「まち歩き」活動、さらには、復興に向けた人

は、これまで国内では小学校から大学まで約1000校、世界では約1万校が指定されている。持続可能な開発のための教育(ESD)を防災、自然科学、国際理解の面から行うことで、地球規模の諸課題に対処する力を育成し、今後、世界中の指定校と交流を行う。次に文部科学省から指定を受けたIEスクール(情報教育推進校)では、21世紀型学力として重要視される情報活用能力の育成を目指す。学校教育活動全体で研究開発を行うもので、すでに全教室がWiFi環境に整備され、タブレット端末を用いた授業が行われている。災害科学科の野外実習でもデータ収集や情報整理などにタブレット端末が使われ、先進的な授業が始まっている。



宮城県教育長を表敬訪問する生徒会執行部役員

復興功績顕彰受賞
復興功績顕彰に選定された。
表彰は2月9日に仙台市内で行われ、学校代表として木村千恵生徒会長が出席した。また、宮城県庁を訪れ、県教育委員会高橋仁教育長を表敬訪問し、受賞の報告を行った。

長島副大臣
7月13日長島副大臣が来校した。副大臣は、新潟県中越地震の際、山古志村(当時)の村長として全住民避難及び復興の陣頭指揮にあられた。この日は、「くらしと安全A」などの授業を参観した後、「自然科学と災害B」の特別講師として、当時の山古志村での経験や災害についての考え方、地域コミュニティの大切さを話された。また、現在の国会議員としての活動も話された。放課後には、生徒会役員などを交えて意見交換も行われ、「震災を忘れないことが大切」と語り、若い世代が、まだ災害に見舞われていない他の地域の人々や、次の世代へ語り継ぐことが重要だと話した。

復興住宅

2月16日に本校の学校設定科目の一つである「くらしと安全A」で東北工業大学工学部建築学科新井信幸准教授を迎え、住環境をテーマに「仮設住宅と復興コミュニティデザイン」と題した授業が行われた。
仮設住宅の概要やそのタイプ、建設費、カスタマイズやリニューアルの話のほか「見なし仮設」についても説明があった。後半は仮設住宅から復興公営住宅への移行段階でのコミュニケーションのあり方について、仮設住宅のあり方について、仮設住宅で築いた交流をどう復興住宅に引き継いでいくかという課題についての授業がなされ、まさに現在進行中の課題を取り上げた。スライドを使いわかりやすく説明する新井准教授

有珠山実習

5月18・19日の2日間、生徒有志4名が北海道の洞爺湖有珠山ジオパーク巡検に参加した。北海道の室蘭・苫小牧の合同学習で、大地の変形を示す様々な証拠を探したり、断層を直接観察することで、噴火活動による地形の変化などを推定・考察した。
1977年に有珠山が噴火した当時は周りに人も生活していたが、そのほとんどが崩壊し、人が住めるような環境ではなくなった。噴火の跡は、現在も残っており、非常に貴重な教育財産になっている。

つくば研修

9月29日、30日に、災害科学科生徒全員と普通科理科系生徒の希望者9名を対象に、茨城県のつくば研修が行われた。今年で3回目になる本研修は、つくば学園都市内の様々な研究施設を巡り、最前線で活躍している研究者から直接学べる絶好の機会である。
生徒は3つの班に分かれ、防災科学技術研究所や地質標本館、JAXA、高エネルギー加速器研究機構などの研究施設において、それぞれ実習、講義、見学等を行った。

津波考察

3月には、災害科学科1年生を対象として、本校と連携協定を結ぶ東北大学災害科学国際研究所長の今村文彦先生による特別授業が行われた。「自然科学と災害B」の授業の中で行われた。「津波から生き抜く」をテーマとし、同研究所の佐藤翔輔先生の共著による小冊子を元に、東日本大震災での経験をもう一度ふり返り、津波とは何か、また最近になってわかってきたことを知り、今度津波が襲ってきたとき、自分はどう行動するかを考えた。シミュレーション動画を交えながらの講義とワークシートへの記入作業

塩釜浦戸巡検

7月、災害科学科1年生は、初の野外実習となる「浦戸巡検」が2日間にわたり行われた。JAMSTECより講師として白井洋一先生を招き、初日はグーグルマップを使い海嶺の探査を行った。2日目は生物班と地学班に分かれ、塩釜市浦戸諸島野々島・寒風沢島へ渡り、東京大学生産技術研究所・潮流発電施設も見学した。各自がiPadを実験・実習ツールとして所持し、各種アプリを用いて走向傾斜測定や観察の記録、現在地の確認やルートの確認をしながら活動した。

普通科理科

北海道有珠山実習 塩釜浦戸諸島巡検 つくば学園都市研修

津波考察

有珠山実習

塩釜浦戸巡検

つくば研修

復興住宅

津波考察

有珠山実習

塩釜浦戸巡検

つくば研修

多彩な講師による 特別授業続々

復興住宅

津波考察

有珠山実習

塩釜浦戸巡検

つくば研修

復興住宅

津波考察

有珠山実習

塩釜浦戸巡検

つくば研修

復興住宅

津波考察

有珠山実習

塩釜浦戸巡検

つくば研修

3・11を忘れない

東日本大震災メモリアルday



全プログラム終了後に参加者全員での記念撮影

3月4日・5日の日程で東日本大震災をはじめ、各地での災害の経験と教訓を継承するため、全国で防災活動や災害研究に取り組む中高生を招待し、東日本大震災メモリアルdayを初めて開催した。互いの活動を紹介し合い、交流を深め、将来の防災・減災に貢献できる人材育成を目的に本校が主催した。

3・11に合わせ開催したこの行事には阪神大震災後に全国の防災系学科を開設した兵庫県の舞子高校をはじめ、全国7道県から12校60人が参加した。開会行事では鈴木洋宮城県教育庁教育次長と武政功復興庁宮城復興局長が挨拶。この行事開催を支援いただいた多賀城ロータリークラブの佐藤仁一郎会長も来賓として参列した。東北大学災害科学国際研究所佐藤健教授の「DDRの実現に向けて高校生に期待すること」と題した基調講演の後、参加校からそれぞれ、活動紹介のプレゼンテーションが行われた。また、各校のブースでは、より詳しい研究や活動内容を紹介するためのポスターセッションも行われ、質問や意見交換が活発に行われた。

夜は、市内ホテルで懇親会が開かれ、交流を深めるゲームなどが行われ、会場は大いに盛り上がった。2日目は災害発生を前提とした「もし、24時間前に戻れたら」と題したワークショップが行われ、どの



活発な意見交換が行われたワークショップ

班も熱い議論が繰り広げられた。合意形成の難しさなど、それぞれに見つけた課題を共有していた。学校で閉会行事を行った後、バスで七ヶ浜町の現在の様子を見学しながら、多賀城市内に移動。生徒が手作りマップとiPadを駆使し震災当時の映像等を見せながら案内する「まち歩き」では、同行した引率教諭からも感嘆の声が上がった。ゴールの多賀城駅前解散となったが、皆、別れを惜しむつつ帰路についていた。

日本へ留学に訪れたドイツスポーツユニオンに所属する高校生8名が7月30日から4日間、本校生徒宅にホームステイを行った。滞在中は、語学研究部を中心に約20名の生徒が、七ヶ浜町の被災地案内や松島観光を行ったほか、意見交換会、剣道部と弓道部の協力を得ての武道体験、本校敷地内での流しそめんパーティーなど様々な活動を通して交流を深めた。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

国際交流

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

ASEAN 10月21日にはインドネシアやベトナム、マレーシアなどから東京の大学に通うASEAN国費留学生23名が訪れた。震災からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備え、防災教育を行っている本校を視察した。一行は「くらしと安全A」の授業に参加し、災害時の洗濯について、ポリエチレン袋に少量の水と洗剤を入れ、手もみ洗浄を行う実験に取り組んだ。放課後は生徒の案内で、実際に当時の映像を見ながら市内津波浸水域を歩く「まち歩き」を行った。

被災地や地域への貢献 ボランティア活動

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標

多賀城市大地区公民館が主催する小学生防災キャンプが8月5日から1泊2日で行われ、本校のボランティア生徒9名が参加した。消防士による救命法、自衛隊員による器具を使った救助体験の補助などを行った。また、本校生の担当により「防災〇×クイズ」や本校の「津波波高標示活動」で使われている津波標